

2018

採用パンフレット

国家公務員採用一般職試験
(大卒程度試験、高卒程度試験)

あなたの『未来』が いま始まる

MINISTRY OF DEFENSE

防衛省

日本の未来を、『守りたい』

私たちの日々の暮らしは、経済・産業の成長や、
国土・インフラの充実があってはじめて成り立つものです。
そして、そのすべての基盤は安全保障という
「国家存立の根幹」があるからこそ実現されているのです。

しかし、私たちの期待とは裏腹に、
世界では様々な脅威が新たに生まれ続けています。

2011年3月の東日本大震災をはじめとする自然災害をはじめ、
世界各国で発生している紛争やテロリズム、
大量破壊兵器の拡散やサイバー攻撃など、
めまぐるしく日本を取り巻く国際情勢は変化し続けています。

私たちは日本と日本を取り巻く世界の平和を守り抜くために、
知恵と技術をもって立ち向かい続けなければなりません。

この不透明な国際情勢に対応していくには、新たな事態を感知できる幅広い視野、
そして、柔軟性のある発想力や対応力が求められています。

日本の未来を守るために、あらゆることに挑戦しつづけ、
達成する喜びを共有できる、そんなあなたを私たちは求めています。

contents

防衛省職員とは何か
を知りたい

▷ 4 防衛省職員とは

防衛省の組織
を知りたい

▷ 5 防衛省の組織
6 組織の役割と特色

業務内容や職員の
経験談を知りたい

▷ 6 組織の役割と特色
24 わたしたちから伝えたい—
Message

勤務イメージ
を知りたい

▷ 22 職員の日

キャリアパスや
研修制度を知りたい

▷ 26 キャリアパス
入省後の教育・研修

女性職員の勤務状況、
出産・育児等へのサポート
状況を知りたい

▷ 28 女性職員活躍とワーク
ライフバランス推進について

福利厚生等
を知りたい

▷ 30 処遇

よくある質問
をご紹介

▷ 31 Q&A

防衛省職員とは

～あなたの輝けるフィールドがある～

全国で約21,000人の自衛官ではない職員が知恵と技術をもって、
国の安全を保つため、様々な分野で活躍しています。

「防衛省職員＝自衛官」と思っている方が多いのではないのでしょうか。
防衛省・自衛隊には、自衛官のほか、約21,000人の事務官、技官、教官等が防衛省職員として全国各地で勤務しています。
防衛省職員は、このパンフレットで紹介する「国家公務員採用一般職試験」及び「防衛省専門職員採用試験※」等の合格者の中から採用され、本省内部部局などの中央機関において防衛政策の企画・立案等の業務に従事するほか、全国各地に所在する部隊や機関等において防衛行政に関する様々な業務に従事しています。
皆さんも、防衛省職員として、知恵と技術をもって、国の安全を保つ仕事にチャレンジしてみませんか。
※「専門職」2018採用パンフレットを参照。
注：防衛省職員は、一部の職員を除き特別職の国家公務員となりますが、事務官等の勤務形態や処遇などは一般職に属する他所省の国家公務員と同様です。

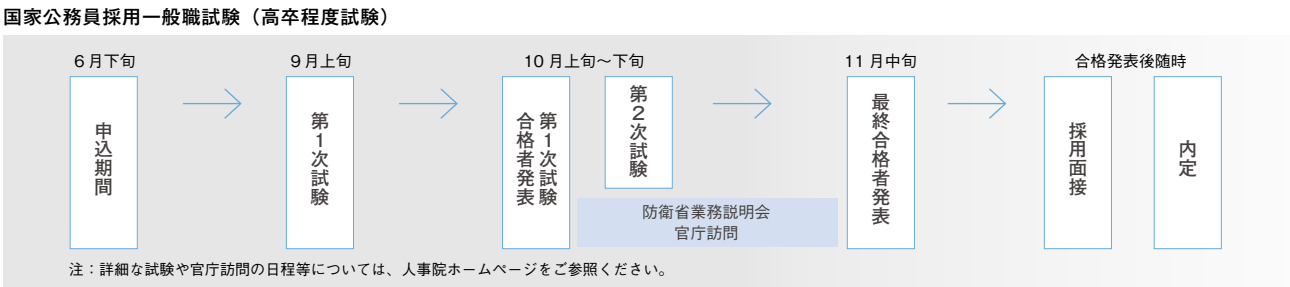
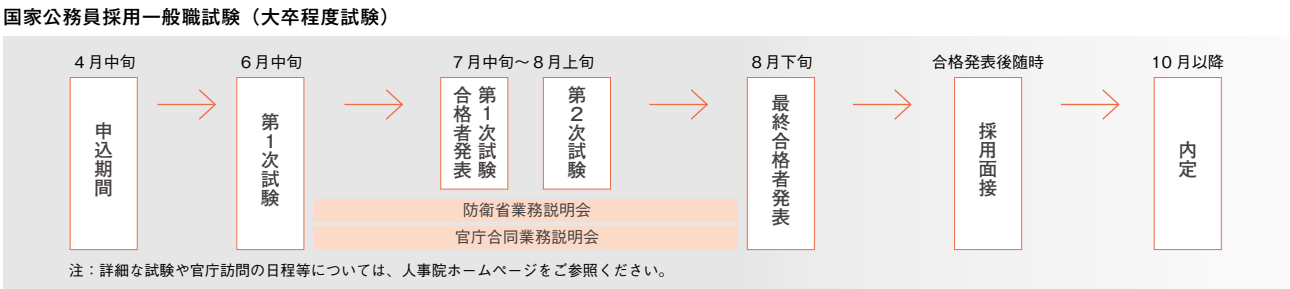
各試験における採用区分

- 国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）
 - 行政
 - 電気・電子・情報
 - 機械
 - 土木
 - 建築
 - 物理
- 国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）
 - 事務
 - 技術（電気・情報系、機械系、土木系、建築系）

行政・事務	事務官として、本省では主に政策の企画・立案を、各機関では総務、法令、人事、会計、渉外等の業務に従事します。
電気・電子・情報	技官として、電子機器の点検・整備・契約実務や、電気・通信設備工事の設計・監督等に従事します。
機械	技官として、装備品の点検・整備・契約実務や、自衛隊施設の建設に必要な機械設備工事の設計・監督等に従事します。
土木	技官として、飛行場や港湾といった自衛隊施設の建設に必要な土木工事の設計・監督等に従事します。
建築	技官として、庁舎、格納庫、整備工場、通信施設等の建築工事の設計・監督等に従事します。
物理	技官として、オペレーションズ・リサーチにより科学的・定量的な分析を行い、防衛力整備計画の諸元を算定します。

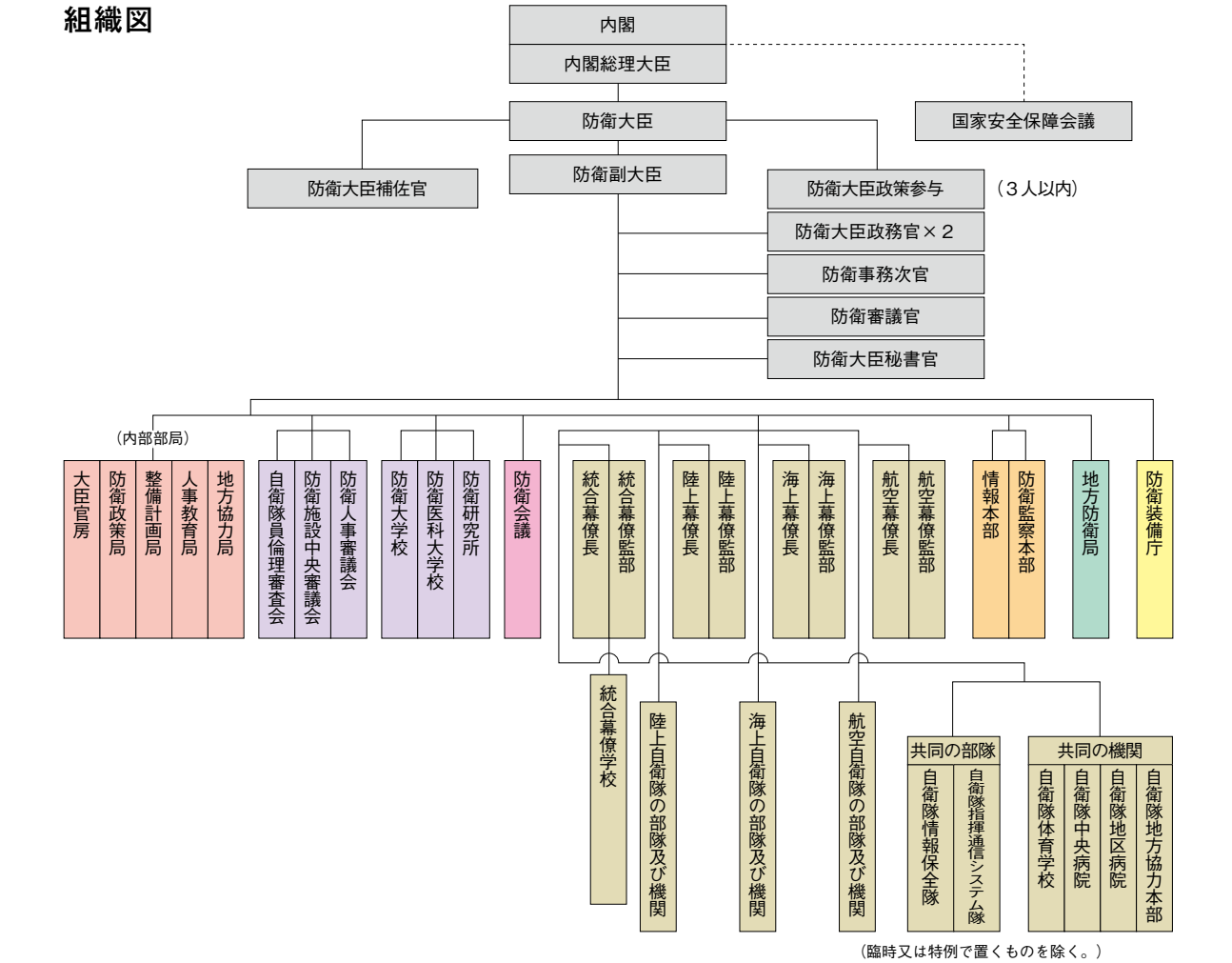
注：年度によって採用予定のない試験区分があります。試験の詳細は人事院ホームページをご参照ください。

採用試験スケジュール



防衛省の組織

防衛省・自衛隊は、我が国の防衛という任務を全うするため、実力組織である陸・海・空各自衛隊を中心に防衛大学校、防衛医科大学校、防衛研究所、情報本部、防衛監察本部、地方防衛局、防衛装備庁など、様々な組織で構成されています。
防衛省と自衛隊は基本的には同じ組織を指し、「防衛省」という場合には、陸・海・空各自衛隊の管理・運営等を任務とする行政組織の面をとらえているのに対し、「自衛隊」という場合には、我が国の防衛等を任務とする、部隊行動を行う実力組織の面をとらえています。
組織の能力発揮のために、自衛官と事務官等が相互に連携・協力して職務を行っています。



防衛省職員の内訳 (2016.3.31現在)

防衛省職員				
防衛大臣 防衛副大臣 防衛大臣政務官（2人） 防衛大臣補佐官 防衛大臣政策参与（3人以内）	特別職		一般職	
	定員内	定員外	定員内	定員外
	防衛大臣秘書官		事務官等	非常勤職員
	自衛隊の隊員		29人	
	防衛事務次官	自衛官候補生		
	防衛審議官	予備自衛官		
	書記官等	624人		
	事務官等	20,505人		
	自衛官	247,154人		
		防衛大学校学生		
		防衛医科大学校学生		
		陸上自衛隊高等工科学校生徒		
		非常勤職員		

（注）定員数は法令上の定員

本省
内部部局



防衛省正門

防衛政策の司令塔として

役割と特色

防衛政策を一手に担う防衛省において、その企画・立案を担当するのが本省内部部局です。

防衛政策の基本的方針を定める戦略文書の作成、その戦略を実現するための法律や予算の策定、これらのツールを用いた政策の実現など、皆さんが本省内部部局の主力たる事務官等として採用されるということは、このような仕事皆さんの日常になることを意味します。将来的には防衛政策の専門家として、皆さんはその知見をフル活用して内閣総理大臣や防衛大臣を補佐することになります。

防衛政策は、国の存立に直接関わる政策です。その行く末を左右する司令塔たる本省内部部局の一員となることは、皆さんの人生に大いなるやりがいをもたらしてくれるでしょう。

また、本省内部部局では政策立案に中心的に携わることが期待される人材として、平成26年度以降、本省採用を行っています。防衛政策の立案・実現のため、高い理想と強い情熱を持った皆さんをお待ちしています。

業務内容

本省内部部局は、以下のような構成となっています。

防衛政策の司令塔として、防衛省・自衛隊が所掌している業務をおよそ網羅していることが見てとれます。

大臣官房	防衛政策局	整備計画局	人事教育局	地方協力局
防衛省職員（事務官等）の人事、省内事務の総合調整、広報、会計などに関する業務を実施	防衛計画の大綱、他国との防衛交流、情報の収集・分析などに関する業務を実施	自衛隊部隊の編成・装備、情報通信、自衛隊等の施設の取得・管理、建設工事の実施などに関する業務を実施	自衛官等の人事・福利厚生・給与制度・教育などに関する業務を実施	全国の基地所在地方公共団体やその周辺住民の方々に対し、防衛省・自衛隊の政策や自衛隊の活動について理解・協力を得るための施策などに関する業務を実施



的場 義之

Ⅲ種 一般事務 H9年入庁
人事教育局 人材育成課 人材確保班 部員
趣味：「ロードバイク」気分転換に最適！
信条：「初心忘れるべからず」

我が国の 防衛政策の中枢がここにある！

現在の職務は、人事教育局人材育成課において、主に自衛官等の募集施策に関わる企画・立案、予算要求、自衛官の現員の充足管理です。防衛省・自衛隊が各種任務を適切に遂行するためには、質の高い人材を確保することが必要不可欠です。

●志望動機について

私は、警察官であった父の背中を見て育ちました。警察官は地域を守る仕事ですが、防衛省・自衛隊に入れば国を守る大きな仕事に携わることができると思い志望しました。国防を担う組織の一員となれたことは大きな誇りです。

●仕事で普段心掛けていること

どんな仕事でも「思い」を持って臨むことが大切です。私たち事務官等の仕事は、小さな事務作業から国の政策に直接関わるものまで広範多岐にわたります。全ての仕事が国防の一端を担っていることを忘れないよう普段から心掛けています。

●職場の雰囲気について

内部部局で勤務する職員は、そのほとんどが事務官等です。上司、部下、同僚が、同じ志を持った組織の一員として一丸となって仕事をしています。仕事の成果が出たときには、達成感を分かち合える仲間がいます。

戦略的な 国際防衛協力に向けて

国際政策課では、各国との防衛分野における協力・交流、能力構築支援、軍備管理・軍縮といった広範にわたる業務に取り組んでいます。日本が直面する安全保障問題は、もはや我が国のみでは対処できず、関係各国との関係構築・深化はますます重要になっています。

●志望動機について

学生時代、インド洋で自衛艦が各国軍の艦船に対して給油活動を行っている映像や、イラクで自衛隊員が炎天下の中、懸命に活動している報道に触れ、防衛省・自衛隊による「国際平和協力活動」に興味、関心を抱き、防衛省・自衛隊を志望しました。

●仕事のやりがいについて

各国との防衛協力・交流は一步一步着実に進展しています。例えば、防衛大臣会談等の2国間会談・協議の件数は10年前と比較して2倍以上に増えています。そうした「現在進行形」の職場で勤務することは非常にやりがいを感じます。

●職場の雰囲気について

国際政策課では、現在、オーストラリアとの間での防衛協力や能力構築支援を進めるため、同国防省から職員を受け入れて一緒に勤務しています。さらに各国の関係者が業務調整に職場を訪れるため、国際色豊かな雰囲気です。



福田 壮一

Ⅱ種 行政 H21年入省
防衛政策局 国際政策課 企画班 主任
趣味：様々な場や機会を活用して、知人・友人との交流を深めています。
今後の目標：自らの仕事の幅や質を高め、マルチな行政官を目標にしています。



防衛大学校本部庁舎

業務内容

防衛大学校で勤務する事務官等は、学校の特性である学生教育に直結した教務事務や防衛大学校学生採用の入学試験業務、学校運営に関わる総務、人事、会計、厚生、施設管理等の様々な行政事務や学生の教養の向上促進を図った図書館事務などがあり、それぞれ一人一人が重要な学校事務を受け持ち、将来の幹部自衛官となるべき優秀な人材の育成の一翼を担っています。

役割と特色

防衛大学校は、将来、陸・海・空各自衛隊の幹部自衛官となるべき者を育成するために設置された教育機関で、神奈川県横須賀市に位置し、晴れた日には横浜ベイブリッジ、房総半島、富士山等を眺めることもできます。

近年、自衛隊は任務の多様化・国際化等へ柔軟に対応し、質の高い人材の確保・育成が求められており、防衛大学校においても更なる高みを目指し、有効な教育施策を教職員一体となり検討・推進しております。



浅野 浩二

Ⅲ種 一般事務 H8年入庁
防衛大学校 教務部 教務課 教務係長
趣味：音楽、休日に家族と過ごすこと。
信条：「相手の立場に立って物事を考えること」

将来の幹部自衛官と 共に成長する

防衛大学校は将来の幹部自衛官を育成する教育機関で、その中で私は教務部教務課に所属しています。主な業務は、学生が受ける授業、定期試験の運営や成績の管理のほか、学生の受講科目の指導や相談を行うなど、卒業や進級に直接関わる非常にやりがいのある業務です。

●業務の魅力・アピールポイントについて

学生が将来の幹部自衛官を目指し日々努力している姿を間近で見守り、時には一緒に困難を乗り越えることのできる素晴らしい業務です。学生の成長とともに、自分自身も成長することのできるこの業務は、他の機関ではなかなか経験することのできない貴重な業務です。

●これまでの勤務で印象に残ったエピソード

卒業式の後に教職員や在校生が、陸・海・空それぞれの制服を身にまとった全卒業生を一人一人見送る行事があります。その際、私の姿を見つけた卒業生から感謝の言葉を掛けてもらった時は、これまでの苦労も吹き飛ばぐらに嬉しい気持ちになります。



防衛医科大学校校内

役割と特色

防衛医科大学校は、医師である幹部自衛官、保健師・看護師である幹部自衛官及び技官となるべき者を養成し、かつ、自衛隊の任務遂行に必要な医学及び看護学に関する高度の理論及び応用についての知識と、これらに関する研究能力を修得させるほか、治療に関わる臨床研修及び研究を行うことを目的として設置された防衛省の機関です。

また、本校の有する防衛医科大学校病院は、学生の臨床実習及び自衛隊医官の臨床研修の場であると同時に、特定機能病院、第3次救急指定病院、災害拠点病院、がん診療指定病院に指定された総合的な医療機関であり、地域医療の拠点としての役割を果たしています。

業務内容

防衛医科大学校に勤務する事務官等は、総務、人事、厚生、会計、調達等の行政事務、施設の建設・維持管理等業務、教官及び学生等に関する教務事務、病院の医療事務等の幅広い職務に従事しており、本校の教育、医療活動を支える重要な役割を担っています。



田中 伸幸

Ⅱ種 行政 H22年入省
防衛医科大学校 総務部 総務課
趣味：料理
今後の目標：視野を広げるため他省庁での勤務を経験してみたいと思っています。

自衛隊医官等を養成し、 高度な医療を提供

私が所属する総務課では主に総務、人事等の業務を行っており、その中で私は部課内の庶務や各種行事に関する業務などを担当しています。

各種行事の企画を行う際は、調整先も広範多岐にわたるため、多くの関係部署との連携に苦慮することもあります。その反面でやりがいもあります。

●志望動機について

全国各地で勤務できることに魅力を感じ防衛省を志望しました。住み慣れた地域外へ異動することに不安を感じる方もいらっしゃると思いますが、それまで訪れたことのない土地での出会いや経験はとても新鮮です。

●心に残った上司の言葉

これまで勤務してきた中で多くの上司と出会い様々な言葉をかけていただきましたが、その中でも心に残った言葉は「得意淡然、失意泰然」という言葉です。誰しも気持ちの浮き沈みはあると思いますが、任された業務を着実にこなすため、この言葉を念頭に置きながら日々業務に取り組んでいます。

陸上自衛隊



国民と共にある我が国最大の防衛組織

役割と特色

陸上自衛隊は、「各種事態における実効的な抑止及び対処」、「アジア太平洋地域の安定化及びグローバルな安全保障環境の改善」の2つを大きな役割とし、その他に地方公共団体や関係機関からの依頼に基づき、国民と関わる様々な分野で社会に貢献する民生協力活動などを行っている防衛省内最大の組織です。

我が国は、四面環海の中に6,852の島々からなる大地があり、その大地は四季による美しさを持ち、その大地に平和を愛する心美しい日本人がいます。我々陸上自衛隊は、この美しい大地と愛する人を守るため、日頃から国民の皆様と共にある自衛隊として活動しています。

業務内容

陸上自衛隊には、防衛省内の事務官等の38%にあたる約7,800名が在籍しており、陸上幕僚監部をはじめ全国に所在する部隊・地方協力本部・病院・学校等において、総務、人事、厚生、会計、法務、情報処理等の事務並びに自衛隊施設の整備・管理及び陸上自衛隊に装備された武器、車両、航空機の整備等の技術といった、多種多様な業務に従事しています。近年、陸上自衛隊の任務が多様化する中で、事務官等は自衛官と共に陸上防衛力を担う重要な役割を果たしています。

自分の能力を生かし、国を守る。

私は、大分県別府市にある陸上自衛隊別府駐屯地の業務隊管理科営繕班で工事企画係として勤務しています。工事企画は、駐屯地内の施設、宿舍、演習場等の建設工事や維持管理のための各種工事・役務の図面・仕様書の作成、積算、現場監督、経費管理、調達、設備の保守・整備等の業務を行っています。

●仕事のやりがいについて

平成28年4月に発生した熊本地震に際して、被害に遭った自衛隊施設の復旧に向け、被害箇所の把握等対応しました。隊員の支援活動等の拠点にもなるため、早急に対応した結果、無事復旧することができました。隊員の支援活動が報道されたとき、私の仕事が支援活動の支えになっていると実感することができました。

●仕事で普段心掛けていること

仕事で普段心掛けていることは、いろいろな人の意見を聞くことと、自分がどう思っているのかを伝えることです。コミュニケーションを図ることで、楽しい職場環境になるのと同時に知識や考え方などを学べるからです。



上村 麻矢

一般職（大卒程度） 建築 H27年入省
陸上自衛隊 別府駐屯地業務隊 管理科 営繕班
趣味：旅行、映画、イベントに出掛けること。
今後の目標：「上村さんがいてくれてよかった」と言われるような技官になること。

様々な分野で国に貢献できる仕事です。

私が所属する陸上幕僚監部衛生部では、陸上自衛隊の保健衛生に関する業務を行っています。そのなかで私は庶務係長として、部内の総務・人事・給与・厚生等の幅広い分野を担当しています。

●仕事のやりがいについて

これまで人事・総務・会計等の業務に携わってきました。業務が変わるたびに一から勉強が必要ですが、それぞれ違った分野で国防に関わることができるので、非常にやりがいがあります。

●心に残った上司の言葉と心掛けていること

当時の防衛庁に入庁してすぐの頃「今のあなたができることを丁寧に行いなさい」と言われたことがあります。どんな仕事も国防の一端を担っているということに気付かされた一言でした。今でも私の支えとなっており、丁寧に行うことで得た信頼が、「この人なら大きな仕事を任せられる」という信頼につながると思い、日々業務に臨んでいます。

●職場の雰囲気について

事務官等と自衛官がデスクを並べて業務を行っています。それぞれが得意分野を持った専門家であり、上下左右と風通しも良く、和気あいあいとした雰囲気があります。



土田 紀子

Ⅲ種 一般事務 H12年入庁
陸上幕僚監部 衛生部 企画室 庶務係長
趣味：仕事帰りの「ひとり飲み」。
今後の目標：「この人と一緒に仕事をしたい」と思ってもらえる人になりたいと思っています。



護衛艦ひゅうが

我が国の特性を踏まえ周辺海域を守る

役割と特色

海上自衛隊は、海上からの侵略に対し国土を防衛するとともに、我が国周辺の海域における海上交通の安全を確保することを主な任務としています。また、ソマリア沖アデン湾における海賊対処をはじめとして、大規模災害等各種事態への対応、国際平和協力業務及び国際緊急援助活動など、国際社会におけるより安定した安全保障環境構築への貢献といった役割も果たしています。

業務内容

海上自衛隊に勤務する事務官等は、海上自衛隊が艦艇、航空機等の装備を運用し、有効に任務が遂行できるよう、各行政分野において高い専門性を備えるとともに効率的な業務を行うことが必要です。海上幕僚監部や全国に所在する部隊及び機関等において総務、人事、会計、補給、厚生等の業務に従事することとなります。また、技術分野においては、艦艇や航空機等の整備に関わる業務に従事します。

海上自衛隊では、我が国の平和と安全を守るため、多種多様な業務を通し海上自衛隊の任務遂行に貢献できる熱意と意欲のある人材を必要としています。



橘 智之

一般職（大卒程度） 電気・電子・情報 H25年入省
海上自衛隊 横須賀造修補給所 艦船部 電気科
趣味：毎日、子供の成長が感じられること。
信条：「情けは人のためならず」

知識を生かし 「国防」に携わる誇りある仕事

海上自衛隊の艦艇が日々円滑に任務を行うための修理、補給に携わる仕事をしています。具体的には、艦艇に装備している電気機器の検査・修理について、工事内容の決定や工程管理、試験等への立会いを行っています。

●志望動機について

初めは「公務員になる」という漠然とした思いだけでした。そのような中で参加した防衛省の業務説明会にて、「国防」に携わる道の存在と身近さ、業務内容の多種多様に興味を持ち、入省を希望しました。

●職場の雰囲気について

これまで海上自衛隊呉基地と横須賀基地で勤務してきました。どちらの職場も明るい雰囲気、トラブルが発生した際には助け合いながら対処するなど、たとえ経験のない方でも働きながら学べる良い環境であると感じています。

情熱をもって、 スマートに。

原価計算課では、入札や商議の際に契約金額の基準となる予定価格の算定業務を行っており、その中で私は横須賀地区における委託業務等の各種役務、海外派遣等に伴う輸送や現地役務の予定価格算定業務を担当しています。

●休日の過ごし方（リフレッシュ方法）について

平日はデスクワークが多いので、ランニング等の運動を心掛けているほか、最近ではフレックスタイム制度を活用して自動二輪免許を取得したことから、バイクで漁港の朝市やデイキャンプに出掛けるなど、心身ともにリフレッシュを図っています。

●業務の魅力・アピールポイントについて

複雑な諸規則を踏まえ担当の考えを予定価格に反映させられるところに面白味があると思います。予定価格算定に至るまでの過程を会計検査などで説明を求められることも多いため、論理的に説明する能力が身に付きます。



西岡 美那

Ⅱ種 行政 H21年入省
海上自衛隊 横須賀地方総監部 経理部 原価計算課
趣味：バイク、ランニング
信条：「守破離」



戦闘機F-2

空の監視を行い、我が国の安全に寄与

役割と特色

航空自衛隊は、我が国とその周辺の上空を24時間態勢で監視しています。
武力攻撃が行われる場合には、周辺を海に囲まれた我が国の地理的な特性や現代戦の様相から、まず航空機やミサイルによる急襲的な航空攻撃が行われ、また、反復されると考えられます。この航空攻撃に即応して、国土からできる限り遠方の空域で迎撃し、国民と国土の被害を防ぐことを任務としています。
日本の平和と安定、そして独立を守るため、日夜任務を遂行しています。

業務内容

航空自衛隊で勤務する事務官等は、航空幕僚監部をはじめ全国に所在する部隊や機関等において、総務、人事、会計、厚生、補給、調達、法務等の行政事務や、研究開発などの業務に携わっています。こうした業務を適切に実施し部隊の環境を整えることで、武力攻撃や大規模災害等の各種事態に迅速かつ効果的に対応することが可能になるなど、航空自衛隊の任務遂行に大いに寄与しています。
航空自衛隊では、自衛官と共に国防の一翼を担い、国民の負託に応え、我が国の安全に寄与する熱意ある人材を必要としています。

我が国の空を守る 内なる頭脳

航空自衛隊千歳基地で契約業務を行っています。具体的には部隊に必要な工事や物品等の要望を受けて入札を行い、適正な価格で業者と契約することが主な業務です。

●職場の雰囲気について

若い人が多く活気があり、メリハリのある職場です。初めての会計業務で分からないことが多々ありましたが、同僚や上司が丁寧に教えてくれ、すぐに溶け込みました。

●学生時代に熱中していたこと

大学では所属していたゴルフ部に一番力を入れていました。年2回ある大学対抗戦に向けて講義後や合宿で練習に励み、チーム一丸となって取り組んだことが人生の大きな糧となっています。

●学生時代にやっておいてよかったこと

学生時代にいろいろなアルバイトを経験したことです。人と交わる経験を学生時代に多く積み、コミュニケーション能力を向上できたことが現在の職場で大きく役立っています。



隈元 康文

一般職（大卒程度） 行政 H27年入省
航空自衛隊 第2航空団基地業務群 会計隊 契約班
趣味：読書、ゴルフ
信条：「苦楽は生涯の道連れ」

航空防衛力の未来は ここで決まる

私の所属する部署では、航空自衛隊における防衛力整備に関する取り組みを実施しています。その中で、私は将来的に必要と見込まれる装備品の一部について、関連した資料の収集や研究等を行っています。

●仕事のやりがいについて

私が関わっている取組みは、防衛省の中でもまだまだ始まったばかりです。そんな新しい取組みの初期から自分が関わっていけるということは、大変やりがいのあることだと考えています。

●休日の過ごし方（リフレッシュ方法）について

休日は、天気がよければジョギングするよう心掛けています。平日は仕事の性質上どうしてもデスクワークがメインになってしまうので、時間を見つけて体を動かすようにしています。

●学生時代にやっておいてよかったこと

現在所属する部署では英語スキルを求められる場面が多々ありますので、英語の勉強はやっていてよかったと思います。英語を使えばできる仕事の幅も増えると思うので、決して損にはならないでしょう。



田添 純彦

一般職（大卒程度） 機械 H27年入省
航空幕僚監部 防衛部 防衛課 防衛班 研究員
趣味：ジョギング
信条：「思い立ったが吉日」

地方防衛局



岩国飛行場



日米交流事業

事務官・技官が主役です！

役割と特色

地方防衛局は、防衛省の地方支分部局として、全国の主要都市に所在し、組織の大半が事務官（事務職）と技官（技術職）で構成された、事務官と技官が中心の組織です。また、勤務先は駐屯地や基地ではなく、地方に所在する合同庁舎が主となります。

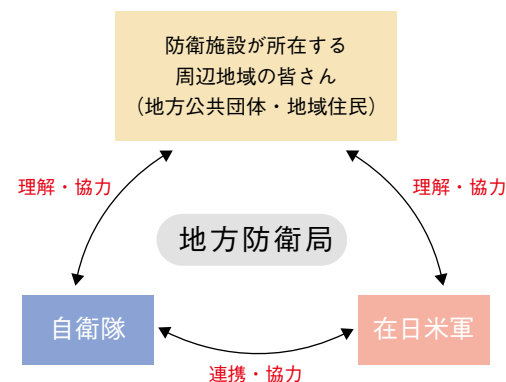
地方防衛局は、自衛隊及び在日米軍の活動基盤となる防衛施設の安定的使用を目指し、防衛施設の整備や自衛隊及び在日米軍の活動が円滑かつ効果的に実施されるよう地方公共団体及び地域住民の理解及び協力を確保する役割を担っています。また、地方公共団体や地域住民との関係を良好に保つため、基地周辺地域の生活環境等を整備する様々な施策を行っています。

地方防衛局は、陸・海・空自衛隊及び在日米軍と地方公共団体及び地域住民を繋ぐ架け橋として、重要な役割を果たしています。

業務内容

地方防衛局の主な業務は、①自衛隊及び在日米軍が使用する防衛施設の建設、②自衛隊及び在日米軍の活動や防衛省に関する政策について、地方公共団体への説明や地域住民を対象としたセミナーの開催などの政策広報活動、③自衛隊及び在日米軍の活動又は防衛施設の設置により生じる障害の防止等のため、地方公共団体が実施する公共工事への補助金の交付、学校や住宅の防音工事の助成、建物の移転補償等の基地周辺対策業務、④訓練などに伴う損害の補償等、その業務は多岐にわたります。

全国約2,400名の地方防衛局の事務官及び技官は、行政官として、エンジニアとして、「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つ」一翼を担っています。



土木工事現場確認風景

後藤 宏徳

一般職（大卒程度） 土木 H26年入省

九州防衛局 調達部 土木課

趣味：休日に映画を見てリフレッシュしています。

信条：「才能とは、継続できる情熱である」

自衛隊員の運用環境を創る仕事に携わる

私は、自衛隊施設及び在日米軍施設の整備に関する工事現場の監督業務を行っており、工事現場で受注者と設計図書に記載された基準や出来形が満足しているか等の調整をしています。まだまだ勉強中ですが、日本の安全保障を支えていることへのやりがいを感じています。

●志望動機について

私は小さい頃、阪神淡路大震災に遭いました。直接の被害はなかったものの、災害を身近に感じた瞬間でした。災害時に役に立ちたいという気持ちが就職活動時も常にあり、地方防衛局ならば災害時に活躍する自衛隊を支える仕事ができると考え志望しました。

●休日の過ごし方（リフレッシュ方法）について

好きな映画や音楽を鑑賞したり、買い物や旅行に出掛けたり、趣味の将棋を指してリフレッシュしています。また、職場の方とバーベキューをして、普段仕事では厳しい先輩が職場では見せない一面を見ることができるなど、発見と驚きがあります。

地域に根ざした防衛行政を担う

北海道内所在の防衛施設に起因する障害を緩和するため、周辺住民の生活環境や事業経営の安定に寄与する施設整備を行う地方公共団体に対し補助金を交付する業務に携わっています。周辺地域の理解と協力を得るために重要な仕事です。

●仕事で普段心掛けていること

地方公共団体など部外の方と接する機会が多いこともあり、日頃から気持ちのよい挨拶を心掛けています。仕事をする上で大切なことは沢山ありますが、人と人のつながりが根底にあることを忘れないようにしています。

●業務の魅力・アピールポイントについて

若手職員の頃から、防衛施設やその周辺地域に実際に行って、現状を自分の目や耳で感じられることが一番の魅力です。地方防衛局で培った地域の視点は、内部部局や他機関で勤務する際にもきっと強みになると思います。

●これまでの勤務で印象に残ったエピソード

採用4年目に地方防衛局から内部部局に異動することになった際、仕事でお世話になった地域の方からいただいた「若い力で今後の国防を地域と関わりながら進めることを願います。」という言葉をつも心に留めています。



穴野 唯

Ⅱ種 行政 H21年入省

北海道防衛局 企画部 周辺環境整備課 施設対策第2係長

趣味：パン作り

信条：「健康第一」

情報本部



防衛省の情報機関として平和と安全の達成に寄与

役割と特色

情報本部は、防衛省の情報機関として、電波、画像、公刊等の様々な情報を収集・解析するとともに、総合的な分析を加え、内閣総理大臣、防衛大臣をはじめ、自衛隊と関係機関に対し政策決定や自衛隊の部隊運用に必要な質の高い情報を提供することを任務としています。

我が国を取り巻く安全保障環境は、様々な課題や不安定要因がより顕在化・先鋭化し、一層不透明となっていることから、我が国の平和と安全を保つためには、高度な情報機能の発揮が必要不可欠であり、情報本部の役割はこれまで以上に重要となっています。

情報本部に勤務する事務官等は、専門家としての誇りを持ち、与えられた役割を十二分に発揮できるよう、日々業務に邁進しています。



※情報本部で勤務する職員は、極めて秘匿性の高い業務に従事しているため、氏名及び写真の掲載を控えています。

日本の安全保障を情報の技術的側面から支える

私は、各種電波の特性把握や解析及び符号構成の研究等に取り組んでいます。

●業務の魅力・アピールポイントについて

情報の分野は日進月歩の世界です。全てを一人でカバーする必要はありませんが、常に新しい理論や技術を把握し、日々の業務にフィードバックさせる必要があります。また、場合によっては一から自分で考える必要もあります。ですので、研究や解析が好きで、困難な課題を解決することに喜びを見出せる人には非常に魅力的な職場と言えます。

●仕事のやりがいについて

専門性及び秘匿性の極めて高いインテリジェンスの世界において、情報の技術的側面から日本の安全保障に貢献できることです。また最新の理論や技術に触れることが可能であるという点も魅力的であると言えます。

●学生時代にやっておいてよかったこと

何といっても研究です。研究だけに没頭できるのは学生時代くらいしかありません。研究自体はもちろんですが、学術雑誌への論文投稿や国際学会等での口頭発表の経験は、現在の仕事でも役に立つ財産となっています。

一般職（大卒程度） 電気・電子・情報 H26年入省
情報本部
趣味：スタンドアップパドルサーフィン 信条：「知は力なり」

防衛研究所



防衛研究所庁舎

防衛省のシンクタンクとして、防衛省の政策ニーズに対応

役割と特色

防衛研究所は、防衛省のシンクタンクとして、防衛省の政策ニーズに適時・適切に応えるため、主に安全保障及び戦史に関する基本的な調査研究並びに幹部自衛官その他幹部職員の教育を行うほか、戦史史料の管理・公開等を行っています。その研究成果は防衛政策の立案に寄与するほか、「東アジア戦略概観」等の刊行物として広く内外に提供されています。

防衛研究所では約140名の職員が勤務しており、そのうち約40名が行政職の事務官等で企画部、教育部、戦史研究センター、研究図書室に配置され、防衛研究所の調査研究、教育訓練等の任務が円滑に実施されるよう、総務、人事、会計等の幅広い業務に従事しています。

統合幕僚監部



派遣海賊対処行動部隊

自衛隊の運用に関する軍事専門的観点から防衛大臣を一元的に補佐

役割と特色

統合幕僚監部は、防衛出動や治安出動、災害派遣、国際平和協力活動をはじめとする陸・海・空3自衛隊の部隊行動等に際し、統一的な構想を立案し、その運用をつかさどる組織として設置され、軍事専門的観点から防衛大臣を一元的に補佐しています。

国内で突発的に生起する自然災害等への対応のほか、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動、国連南スーダン共和国ミッションなどの国際平和協力活動、更には弾道ミサイルへの対処、東シナ海をはじめとする我が国の周辺海空域における警戒監視など、さまざまな活動に全力で取り組んでいます。

統合幕僚監部は、陸・海・空の自衛官及び事務官等で構成されており、その中で事務官等は、総務、人事、会計、渉外、法務等の事務的分野（平成27年10月の改編以降は、部隊運用に関する業務を含む。）並びに分析、研究、通信システム等の技術的分野に従事し、重要な役割を果たしています。

防衛監察本部



コンプライアンス啓発資料等

防衛省・自衛隊の全ての組織から独立した立場で厳しく監察

役割と特色

防衛監察本部は、防衛省・自衛隊の全ての組織に対して、独立した立場で監察を行い、業務遂行上の問題点を発見し、改善策を助言するとともに、不正や非遵行為につながる行為を未然に防止することにより、国民から信頼される防衛省・自衛隊を目指しています。さらに、職員のコンプライアンス意識の浸透・向上を図るため、コンプライアンスに係る講習会を各地で開催するとともに、啓発資料の作成・配布に取り組んでいます。

防衛監察本部に勤務する事務官等は、総務、人事、会計等の管理業務、監察の企画・立案、監察の実施業務など重要な職務に従事しています。



16式機動戦闘車



C-2、X-2

効果的な防衛装備行政

役割と特色

防衛装備庁は、防衛省の外局として設置され、装備品等について、その開発及び生産のための基盤の強化を図りつつ、研究開発、調達、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務としています。

防衛装備庁は、内部部局と研究所等で構成されており、内部部局には、庁内の内部管理、装備品等の技術開発等を行う長官官房、装備政策の企画・立案を行う装備政策部、装備品のプロジェクト管理を行うプロジェクト管理部、先進的技術分野を含む研究の企画立案を行う技術戦略部、調達計画の策定・調整を行う調達管理部、装備品の契約実務・調達の実施を行う調達事業部があります。また、装備品等の技術研究・技術開発のうちの試験評価を行う研究所及び先進技術推進センター、そして専ら試験を実施する試験場で構成されています。

業務内容

防衛装備品の適切な開発、生産、維持整備は、我が国の安全保障上、極めて重要です。特に①諸外国との防衛装備・技術協力の強化、②厳しさを増す安全保障環境を踏まえた技術的優位の確保、③防衛生産・技術基盤の維持・強化、④防衛装備品のハイテク化・複雑化等を踏まえた調達改革等が重要な課題となっているところです。また、高品質の装備品の一層効率的な取得や、コスト管理の徹底を図るためには、装備品の構想段階から研究開発、取得、維持・整備といったライフサイクルを通じた、一元的かつ一貫した管理が必要となります。防衛装備庁は、このような課題に効果的・効率的に取り組んでいます。



田中 大吾

Ⅲ種 一般事務 H14年入庁
防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業計画官付
計画第1班 第1係長
趣味：野球
信条：「後悔先に立たず」

最先端の技術に携わり 自らも成長できる職場

防衛装備品等の取得を前提とした試作及び試験などに関する予算要求や、これらの業務に関わる年度の業務計画の作成などについて、防衛装備庁における取りまとめを実施しています。

●仕事のやりがいについて

将来の装備品等に関係する予算要求や業務計画の作成など、防衛省・自衛隊における装備品に重要な役割を担っていることから、緊張感や責任がありますが、同時にやりがいも感じるところです。

●職場の雰囲気について

私の職場は、一般行政を担当する行政職の職員のほか、主として研究開発に携わっている研究職の職員や自衛官もいるなど、多様な職種の職員がいることもあり、とても活気があります。

●これまでの勤務で印象に残ったエピソード

平成27年10月に防衛装備庁が新設されたことに伴い、新たな業務の立上げに関わったり、これまでであった業務についても、要領等見直すなど、大変ですがとても充実していました。

技術で 国に貢献する

東京都目黒区にある艦艇装備研究所内に設置された試験用水槽で縮尺模型を用いた艦艇の水槽試験に携わっています。

試験実施のため設備・機材の点検から供試体の準備、計測手段の確立等、一連の作業を行っています。

●仕事のやりがいについて

ほんの一部だけでも自分が試験で関わったものが、装備品として世に出ていき、活躍しているのを見聞きする機会があると仕事で関わられて良かったとやりがいを感じます。

●職場の雰囲気について

大きな施設ですが、比較的少人数で試験を実施していることからコミュニケーションは円滑で、試験実施に当たり問題があれば自分たちで計測方法や装置、治具の改良を行い問題解決できるチームワークが発揮されていると思います。



供試体保護のため治具を状況にあわせて加工

筒本 達大

Ⅲ種 機械 H7年入庁
防衛装備庁 艦艇装備研究所 システム研究部
水上艦艇システム研究室 主任研究官
趣味：バイクとカメラ
信条：「仕事は楽に楽しく」



行政・事務職員の日

一般職
(高卒者)
事務

松田 由香

H26年入省

陸上自衛隊 補給統制本部 誘導武器部 技術第1課

期日の迫った仕事をチェックし、今日1日の業務内容を決めます。私の業務は、陸上自衛隊において調達する物品等の構造・性能等を書いた「仕様書」を作成することです。現在は、新規装備品を調達するための仕様書の作成に携わっています。



職場の食堂等で同僚や先輩たちと一緒に食べています。食後は、午後からも頑張れるように、好きな読書をしたり、音楽を聴いたりしてゆっくり過ごしています。



班内ミーティングで出来上がった仕様書を、更に課長へ説明。自分の伝えたい内容がうまく説明でき、課長から承認をいただけた際は、達成感が得られます。

勤務終了！デスク周りの書類や資料を整理し、今日1日学んだことをノートにまとめ、今後の業務に生かせるように心掛けています。



8:30
課業開始

8:00 登庁

職場の近くに住んでいるので、週に何度か早めに出勤して職場の方と一緒に軽くジョギング。談笑しながら体を動かし、課業開始に向けて気持ちを切り替えています。



9:00~12:00
午前中の仕事

どのようなものが必要なのか、関係部署と細かく調整し、仕様書に反映していきます。使用する言葉によっては、大きくニュアンスが変わってしまい、要求していた内容と実際に調達した物品等が違うということにもなりかねないので、慎重に作業していきます。仕様書の作成に当たっては、いろいろな人と何度も調整する必要があるため、フットワークの軽さが求められます。

13:00~15:00
午後の仕事

作成した仕様書の内容を、班内ミーティングにおいて、検討します。まだまだ知識が浅いので、違った観点からアドバイスを受けるなど、学ぶ場面が多くあり、とてもいい刺激になります。



15:00~
夕方仕事

退庁後

駐屯地バレーボール部でマネージャーをしています。課業後にバレーボール部のみんなと体を動かしてリフレッシュするのは、とても楽しい時間です。



技術職員の日

職種
建築

中川 彰

H17年入庁

南関東防衛局 調達部 建築課 建築第5係長

子供を保育園に預けた後、職場へは電車で通勤しています。9時頃登庁した後、課業開始に備え、今日すべきことの整理や1日のスケジュールの確認を行います。



9:00 登庁

9:30
課業開始

建築課の主な業務は、自衛隊施設及び在日米軍施設の建設工事に係る設計、積算及び監督業務です。より良い防衛施設を整備できるように、技術的な知識や技能を最大限発揮し日々の業務に励んでいます。



9:30~12:00
午前中の仕事

午前中は、設計業務に係る設計図面の確認や工事施工者から提出された施工図等のチェックを行います。図面段階で詳細な納まりの検討や問題点の抽出を行い、施工段階で間違いや手戻りがないように精査します。



12:00~13:00
昼休み



昼食は、お弁当や庁舎内にある食堂を利用することが多いですが、職場の立地が良く、みなとみらいや中華街が近いので、外食することもあります。同僚との食事を楽しみ、気分をリフレッシュすることによって、午後からの課業もしっかり取り組むことができます。

16:00~
夕方仕事



現場から帰局後、現場状況等について上司に報告し、現場で新たな検討事項があった場合は、対応方針について打合せをします。また、不在中のメールの返信や、やり残したことがないかを確認し翌日へ仕事を持ち越さないようにします。

18:15
課業終了

退庁後

遅くまで残業することもあります。期日が迫っている業務がない場合は、定時に退庁します。退庁後は、早めに帰宅して子供と遊んだり、仲の良い同僚と食事をしたりして充実した生活を送っています。



わたしたちから伝えたい—
Message



今回集まったのは将来を担う若手の4人
防衛省に対する思いから
対談をとおして伝えたいことは——

職場の雰囲気について

若井：私が所属している課では、一言で言うとか職員が互いに助け合いながら仕事をしており、『全員野球』を大事にしています。通常業務では職場の雰囲気は明るいですが、緊急事態が発生した時には、慌ただしくなり、スピード感と業務の質を高く求められるため、厳しく指導されることもあります。

でも、厳しいと言っても、愛情を持って育てようとして下さっていますしこのような職場環境だからこそ、上司・同僚とのコミュニケーションの大切さを日々実感しています。

鈴木：私が所属している防衛大学校も含め、事務官等が多いので、そういった意味では、他省庁と雰囲気は変わらないかもしれませんね。

塚本：私の職場には自衛官と事務官等が半々ぐらいいます。職場は明るく、アットホームな感じです。年齢の近い先輩とはプライベートでもよく遊びに行くような関係で、分からないことがあったときなど誰にでも話しかけやすい環境だと思います。

大津：入省するまでは、防衛省って聞くと『男社会』的なイメージを持っていましたが、入省してから、私の周りもそうですが女性職員が多いことと、結婚して、育児をしながらも定年まで勤められている方が多いことに驚きました。

これまでの業務でやりがいを感じたこと

若井：北朝鮮ミサイル発射事案の時です。緊急事態が発生した時、大臣会見資料の作成や、会議の開催準備等で慌ただしくな

りますが、大臣会見では報道機関から最新情報や省としての見解を求められるため、防衛省が国にとって危機管理上最も重要な場面で頼られる組織であると実感しました。そうした内容がニュースで取り上げられたときは、社会的関心度の高い業務に微力ですが携わっていること、防衛省という組織で働く重みと共にやりがいを感じました。

鈴木：私は、規則改正を担当したことです。大学時代、法学部でしたが、これが実際にやってみると難しい。

他の規則と矛盾抵触が起こらないよう、上位規則をよく調べ、上司にもアドバイスをいただきながら何とか作成することが出来ました。作成した規則に基づき、業務が運用されたときは、大きなやりがいを感じました。

塚本：私は、航空機を調達する部署に所属していますが、航空機の修理ひとつとっても高額な契約になります。上司のサポートのもと、担当していますが、責任をすごく感じています。ですがその分やりがいも感じています。

大津：私は人事に携わっていますので、業務説明会に参加される学生の方と、話をする機会をいただきます。実際に、私の説明や実体験を聞いてくれた方が翌年入省したことがありました。私の説明を聞いて、少しでも入省するきっかけになってくれたらとても嬉しいですね。

若井：私も、学生の方と話をする機会をいただきました。志望先を迷っているからこそ聞きに来てくれているので、そういった方に、防衛省の醍醐味ややりがいを伝えています。それが肌に合っていると感じてくれたら、やっぱり嬉しいですね。

官庁訪問の際に心掛けたこと

鈴木：私は、実際に訪問して、周りを見渡しながら、働いている職員を見て、そして話を聞いて職場の雰囲気を感知するようにしていました。そうした中で、自分が働く姿を具体的にイメ

ージするようにして、働く姿がイメージ出来たとき、この仕事に向いているのかなと思いました。

若井：イメージすることってありますよね。雰囲気も省庁ごとですが、自分に合っていそうだなとか感覚的に思うこともあり。私個人としては、訪問の際に無理に取り繕わないで面接を受けました。何故入省したいのか深く掘り下げて、自分自身と向き合ってから面接に臨みました。

塚本：私は防衛省1本に絞っていましたが、防衛省に限らず他省庁の説明会にも何度か行きました。鈴木さんのようにいろいろと話を聞いて、働いている自分を想像するようにしました。説明会に何度か足を運ぶうちに、様々な業務について自分なりに勉強して、将来のビジョンを明確に持つことで、自信を持って臨むことができたと思います。

大津：私は、人前で自分の意見を話すことが苦手でも緊張するタイプなので、官庁訪問の前に開催されていた説明会にできるだけ参加して、場の雰囲気に慣れることを心掛けました。そして何よりも、何度も足を運ぶことで志望度が高いということもアピールになるのかなと考えました。

最終的に防衛省を選んだ理由

鈴木：防衛省は、全国に駐屯地等の職場があるので、他省庁や市役所に比べると全国転勤ができるのが大きな特徴だと思います。私は割と気が多い性格なので、いろいろなところで仕事をしたいと思っていたので、そこに魅力を感じました。また、今日集まった皆さんはそれぞれ違う仕事をされていますが、仕事の種類も多いと思います。私も様々な仕事を経験したいと思っていたので、最終的に防衛省を選びました。

塚本：私は、航空機を調達する業務をしています。そこでは航空機の機体やエンジン等の専門知識が必要となります。自分の知識を高めることができるし、自衛隊の航空機のような特殊

なものに触れる機会がとても多いところに魅力を感じました。
大津：様々な省庁の説明会に参加しましたが、中でも一番親身になって話を聞いて、熱心に説明をしてくれたのが防衛省（海上自衛隊）でした。

また、説明会の場にいる職員の様子を見て、雰囲気が良いなと感じたのも理由の一つです。

若井：まず、日本が抱える課題に対して解決策を考え、教科書に残るような歴史的な瞬間の裏側を見ることができるのは国家公務員でしか味わえないと思うんです。中でも防衛省では、『国防』という国の存立に関わる最重要課題に携わることができます。また、世界を見渡すとテロやミサイル発射事案などが発生する国際環境の中で、『国防』という国の責任は欠かせないものです。『日本の平和を引き続き守っていくにはどうすればよいのか』という課題に対する答えを見いだせるのはこの省しかないと思い選びました。

学生の皆さんに伝えたいこと

鈴木：就職すると、起きている時間の多くを仕事に費やすことになります。仕事そのものを楽しさや、やりがいを感ずることができれば、自分自身の人生を豊かにしていけるものだと思っています。これから皆さんは、真剣に悩みながら、自分がやりたいと思うことを見つけていただき、その中で、『防衛省』を選択肢の一つとしていただければ幸いです。

塚本：私は、他省庁を含め業務説明会には積極的に参加した方がいと思います。実際に参加することで、採用パンフレットやホームページの情報だけでは気づかないことが発見でき、自分に合う職場を見つけられる可能性が増えると思います。

大津：私も塚本さんと同じように、業務説明会に参加していただきたいなと思います。私自身、他省庁や民間企業の説明会に参加して、最終的に防衛省を選びました。大変な仕事でも、上司や同僚が支えてくれる職場なので、やる気ややりがい生まれてきます。ぜひ防衛省の説明会に足を運んでみてください。お待ちしております！

若井：防衛省では、試験区分に関係なく防衛政策のコアな部分に携わることができることと、最前線の部署で経験を積む機会を与えてくれます。どんな仕事においても、一つ一つが国の安全を支え、それが自分の家族、ひいては国民の皆様の安心に繋がっていると思うと、こんなに使命感のある仕事はないと思っています。また、仕事で煮詰まっていると一緒に向き合ってくれる熱心な上司や先輩がいてくれます。仕事をとおして喜怒哀楽を共有できる仲間がたくさんいますので、ぜひ入省してほしいなと思います。



若井 亜樹
防衛政策局
防衛政策課 企画調整班
一般職（大卒程度）行政 H27年入省

防衛政策課において、国家安全保障会議等の連絡調整を実施。また、緊急事態発生時に事態対処を行う部署と連携し初動対応にも従事。



鈴木 拳
防衛大学校
総務部 会計課 経理室
一般職（大卒程度）行政 H26年入省

会計課において、防衛大学校に勤務する事務官等、自衛官及び学生約2,700人の給与に関する業務を担当。



大津 遥香
海上自衛隊
横須賀地方総監部 管理部 人事課
一般職（大卒程度）行政 H26年入省

人事課において、主に人事記録の作成、異動・採用時の宿舍調整を担当。職員の採用業務にも携わっている。



塚本 晶子
防衛装備庁
調達事業部 航空機調達官付
一般職（大卒程度）行政 H26年入省

自衛隊で使用する航空機の調達に関し、入札、契約及び支払の一連した業務を担当。また、課内の庶務にも従事。

キャリアパス

防衛省では、個人の能力向上と組織の活性化を図るため、①組織間の異動（全省的視野の向上）②全国異動（全国的視野の向上）③本省（内部部局）での勤務（政策の企画・立案）などを基本とした人事管理を行っています。



伊澤 佑一
一般職（大卒程度） 行政 H 2 4 年入省
防衛装備庁 装備政策部 装備政策課

私が防衛省を志望した理由は、「我が国の平和と独立を守る」という重大な使命を持つ防衛省・自衛隊の一員としてやりがいのある仕事をしたいと考えたためです。現在、私は国会等への対応に関わる防衛装備庁内の調整等を主な仕事としています。調整には困難を伴うこともありますが、今後も粘り強く、使命感と自覚を持って業務に励んでいきたいと思



高橋 未希
Ⅲ種 一般事務 H 1 6 年入庁
東北防衛局 企画部 周辺環境整備課 障害防止第2係長

安全保障に興味を持ったことをきっかけに入庁し、現在は、自衛隊等の行為に起因する防衛施設周辺の障害を防止する事業として、地方公共団体が行う河川改修等に関する助成業務を担当しています。地方公共団体との調整の窓口となるので、分かりやすい説明と相手の要望の理解を深めることを意識しながら業務に励んでいます。自分が携わった事業で実際に完成した現場を見たとき、一番モチベーションが上がります。



吉川 鉄矢
Ⅱ種 行政 H 1 0 年入庁
航空自衛隊 中部航空方面隊司令部 総務部 厚生課 共済班長

国防という崇高な使命に憧れを抱き、防衛庁（当時）の門を叩きました。航空自衛隊を皮切りに全国異動、他機関での勤務経験を経て、現在は福利厚生業務を担当し、管内の担当部署の業務指導を行っています。防衛省・自衛隊という組織における防衛事務官等の存在意義に日々思いを巡らせながら充実した毎日を送っています。



錦織 誠
一般事務 初級 S 6 0 年入庁
自衛隊和歌山地方協力本部長

私は純粋に人の役に立つ仕事がしたいとの思いから、当時の防衛庁に入庁しました。地方の小さな部隊勤務を皮切りに、これまで、三つの組織での勤務を重ねながら、主に本省内部部局勤務を中心に、自衛隊の運用、人事制度・人事管理及び福利厚生施策の企画立案業務などに携わり、幅広い知識を吸収させていただきました。
現在は、数少ない事務官等の部隊等長職である自衛隊和歌山地方協力本部の本部長として、地域との連携強化、自衛官の募集等業務の陣頭指揮を執っており、組織マネジメントにも意を配しつつ、充実感と心地良い緊張感を味わいながら日々精励しております。

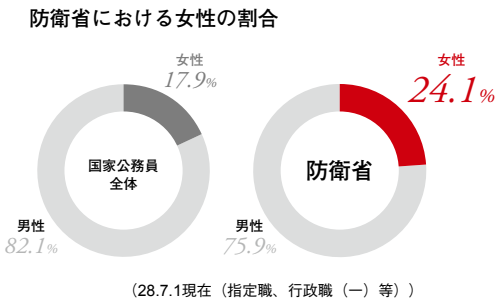


入省後の教育・研修

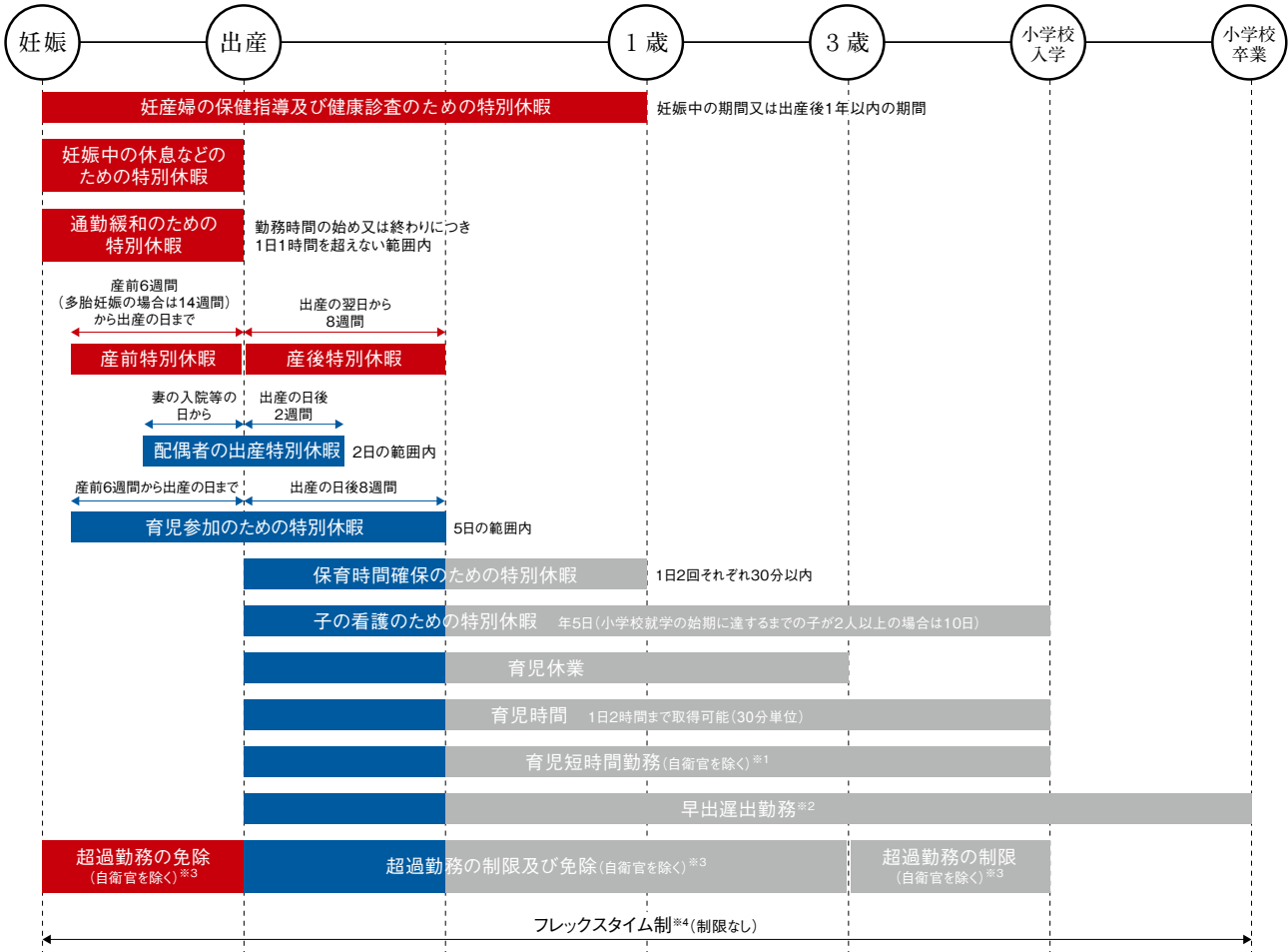


女性職員活躍とワークライフバランス推進について

女性の活躍を進め、男性も女性もともに働きやすい職場となるように、働き方の見直しや、育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備などに取り組み、職員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進しています。



仕事と育児の両立を支援するための制度



*1 週38時間45分より短い勤務時間
*2 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員、小学校に就学している子を放課後児童クラブ等へ迎え又は送りに行く職員又は親族を介護する職員に1日の勤務時間を変更することなく、始業・終業の時刻を変更することを認める制度
*3 妊娠中若しくは出産後1年以内の女性職員又は3歳に満たない子を養育する職員については、請求により超過勤務をさせてはならない。小学校就学の始期に達するまでの子を養育又は親族を介護する職員については、請求により月24時間、年150時間を超えて超過勤務をさせてはならない。
*4 職員から申告が行われた場合、隊務又は公務の運営に支障がない範囲内において、始業及び終業の時刻について職員の申告を考慮して、勤務時間を割り振る制度 (1週間あたり平均の勤務時間又は日課が38時間45分となるように割り振る。)

庁内託児施設の整備

開設年月日	開設場所	開設年月日	開設場所
H19.4.2	三宿駐屯地 (目黒区)	H27.4.1	朝霞宿舍地区 (朝霞市)
H21.4.1	熊本駐屯地 (熊本市)	H28.4.1	入間基地 (狭山市)
H22.4.1	横須賀地区 (横須賀市)	H29年度を目処	市ヶ谷地区 (新宿区)
H23.4.1	真駒内駐屯地 (札幌市)		防衛医科大学校 (所沢市)



井上 周子
Ⅲ種 一般事務 H13年入庁
大臣官房 会計課 支出班 給与係長

自分らしい働き方が出来ます！

私は現在、大臣官房会計課で内部部局の職員の給与や旅費の支給等に関する業務を行っています。本省ならではの困難な業務もありますが、ここでしか出来ない経験でやりがいを感じています。

●仕事と家庭生活の両立について (工夫したこと、気づいたこと等)

帰宅が遅くなることもありますが、忙しい時期は業務に集中し、夏季休暇などではまとまった休暇を取るなどメリハリを付けた働き方を心掛けています。また、同じ防衛省職員である夫と上手く協力し、お互いの負担をカバーし合うことで仕事と家庭を両立出来るよう努めています。

●防衛省を目指す女性へのメッセージ

防衛省では自分のやる気次第で男女関係なく多種多様な業務に携われるチャンスがあります。一方で、結婚や子育てを理由に退職する人をほとんど見たことがなく、自分の経験を長く生かせる職場だと思います。仕事も私事も充実させたい方、ぜひ防衛省で働いてみませんか。



佐藤 奈美恵
Ⅱ種 行政 H9年入庁
海上自衛隊 横須賀地方総監部 経理部 経理課

お互いに支え合う、和気あいあいとした職場です！！

現在、私は海上自衛隊横須賀地方総監部経理課において、横須賀警備区内の予算管理及び課内におけるシステム管理に関する業務に従事しています。

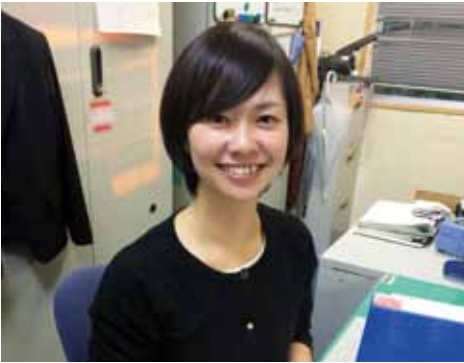
●仕事と家庭生活の両立について (工夫したこと、気づいたこと等)

育児休業後、現在の配置となりましたが、育児時間やフレックスタイム制度を活用することにより、仕事と子育ての両立を図っています。とはいえ、主人も経理業務に携わる職員であることから、年度末の煩雑さも理解してくれており、お互いに調整することにより子供達の送迎や面倒をみる事が出来ていると思います。

●職場の雰囲気について

職場の雰囲気は明るく、業務内容などで悩んでいても、周囲の上司・同僚が皆で相談して解決していこうという空気が常に流れており、多忙な時期であっても前向きな姿勢で取り組む良い環境です。

頼りになる上司・先輩から学ぶ機会を生かして、一緒に勤務していきましょう。



田北 友里
Ⅱ種 行政 H21年入省
航空自衛隊 中部航空警戒管制団司令部 人事部 人事班

仕事も家庭も両立させたい貴方は防衛省へ！

現在、私は幹部自衛官及び事務官等の人事管理や職員の採用に関する業務を担当しており、隊員の昇任 (昇格) ・昇給など、隊員個人の生活に直結する重要な業務に携われることに大きなやりがいを感じています。

●育児休業を取得しての感想

これまでに2度の育児休業を取得しました。長期間職場を離れるのはとても不安でしたが、周囲の方々の温かいご理解とサポートもあり、安心して育児に専念することができました。今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

●防衛省を目指す女性へのメッセージ

防衛省・自衛隊と聞くと「男社会」というイメージがありますが、実際は女性職員も多く活躍しています。近年、子育ての問題 (待機児童や送迎等の不安) を解消するべく、庁内託児施設の増設が進み、仕事も家庭も両立できる環境が防衛省にはあります。仕事も家庭も充実させたい貴方、ぜひ一緒に防衛省で勤務しませんか！

処遇

給 与 採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。
表は、新規卒業者で東京都特別区に勤務した場合の一例です。

一般職（大卒程度）	行政職俸給表（一）１級２５号俸の場合 研究職俸給表１級２５号俸の場合	213,840 円 219,600 円
一般職（社会人（係員級））	行政職俸給表（一）１級	192,480 ～ 259,200 円
一般職（高卒者）	行政職俸給表（一）１級５号俸の場合 研究職俸給表１級５号俸の場合	175,320 円 175,440 円

注：一般職（社会人（係員級））の採用時の給与は、採用前の経歴により異なりますが、表では例として、高校卒業後、30歳で採用された場合の支給額です。

手 当 ◎扶養手当：扶養親族のある者に、配偶者月額 10,000 円等
◎住居手当：借家居住者等に、月額最高 27,000 円
◎通勤手当：交通機関等利用者に、１箇月最高 55,000 円
◎そ の 他：超過勤務手当等
◎期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）：１年間に俸給などの 4.30 ヶ月分

勤務時間・休暇等 ◎勤務時間：勤務時間は１日 7 時間 4 5 分、原則として土・日曜日及び祝日等は休みで週休 2 日制を実施しています。
◎休 暇：休暇には、年 2 0 日の年次休暇（4 月 1 日採用の場合、採用の年は 1 5 日。残日数は 2 0 日を限度として翌年に繰り越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等）、介護休暇があります。
◎育児休業：子供が満 3 歳に達する日まで育児休業を、小学校就学始期まで 1 日 2 時間の育児時間をとることができます。

福利厚生 ◎共済組合
共済組合は、国の厚生施策と相互に密接な関係を保ちながら、職員と家族が健康で、より快適な生活ができるよう、健康保険や年金などの事業のほか、生活の安定と豊かさのための各種助成、貯金、貸付、生活必需品の販売や宿泊施設の運営を行っています。
◎福利厚生施設
共済組合直営の宿泊施設、外部委託契約による民間保養施設等が割引金額にて利用できます。
◎優れた健康管理体制
防衛省には独自の病院があるほか、各職場には医療施設が設けられており、職員は病気等の治療を受けることができます。また、全国各地の国家公務員等共済組合連合会の病院も利用することができます。
◎充実した食堂・売店等施設
職場には、食堂や売店などの福利厚生施設が設けられています。

参考 採用予定者数

平成 2 8 年度 国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）
採用予定機関及び採用予定者数

試験区分 採用予定機関	行政	電気 電子 情報	機械	土木	建築	物理
本省内部部局	5					
防衛大学校	2					
防衛医科大学校	3					
陸上自衛隊	106	1	1		18	
海上自衛隊	30	11	7			2
航空自衛隊	23	5	4			
情報本部	1	6				
地方防衛局	80	5	4	20	10	
防衛装備庁	10	4	3			
合計	260	32	19	20	28	2

平成 2 8 年度 国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）
採用予定機関及び採用予定者数

試験区分 採用予定機関	高卒者		社会人（係員級）
	事務	技術	技術
防衛大学校	4		
陸上自衛隊	90	43	
海上自衛隊	14	5	
航空自衛隊	22	6	
情報本部		19	
地方防衛局	43	29	1
防衛装備庁	7		
合計	180	102	1

Q & A

Q1 防衛省が求める人材はどのような人材ですか？
A1. 幅広い視野を持ちつつ、行政・事務区分については、様々な業務に関心を持ち、自分から積極的に学んでいける人材を、技術区分については、専門の業務だけでなく、新しいことにも積極的に挑戦できる人材を求めています。

Q2 事務官等の自衛隊での勤務について教えてください。
A2. 主に事務官は総務・人事・会計・厚生・補給・調達、技官は整備・補給・調達・研究開発、教官であれば教育などの業務に従事します。なお、自衛隊は部隊行動を行う実力組織ということもあり、自衛官とともに同じ職場で勤務することになりますが、事務官等は、戦闘訓練など自衛官としての能力を向上させるための訓練は行いません。

Q3 防衛省では、他省庁のように地域名簿が対象としている地域に採用されるのですか？
また、採用後はどのような人事管理になるのですか？
A3. 地域試験に合格した場合は、原則として当該地域に所在する官署に採用されることになります。また、採用後の人事管理については全国単位で行いますので、他の地域で勤務することがあります。

Q4 防衛省では、本省採用を行っていますか？
A4. 一般職試験（大卒程度）合格者から採用を行っています。採用後は、主に本省において政策の企画・立案等の業務に従事し、将来的に安全保障・防衛政策の実現のため中心的な役割を果たすことが期待されています。なお、本省採用については、一般職試験（大卒程度）の「行政」区分では、全ての地域の合格者からの採用が可能となっております。

Q5 採用後に勤務機関、勤務地及び携わりたい職務の変更を申し出ることはできますか？
A5. 毎年本人に対して意向調査が行われるので、ここで自己の希望を人事担当者へ伝えることができます。ただし、勤務機関及び勤務地については組織の要望や欠員状況によって、携わりたい職務については、本人の能力、適性を見極めて決定するため、全て叶うとはいえません。

Q6 異動のサイクルはどの位ですか？
A6. ほぼ 2 ～ 3 年のサイクルで異動があります。住居を異にする異動もあれば、同一勤務地内での異動もあります。ただし、専門職域で経験を積むことが必要とされる研究職などについては、これより長いサイクルで異動することもあります。

Q7 国家公務員試験の順位や年齢は採用に影響しますか？
A7. 国家公務員試験を最終合格した方であれば、順位や年齢は一切関係ありません。

Q8 業務説明会の参加などが採用に関係しますか？
A8. 業務説明会への参加の有無や参加した回数で採用が左右されることはありません。
業務説明会では、防衛省の各採用予定機関で実際に勤務している職員をととして、防衛省の業務に関する内容を直接確認できる貴重な機会ですので、防衛省への関心の有無に関わらず、お気軽にご参加ください（業務説明会の開催日程等は防衛省ホームページに随時掲載します）。

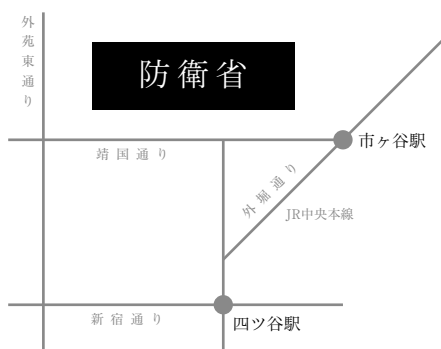


大臣官房秘書課試験企画係

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛省代表03-3268-3111（内線25001、25002）
URL：http://www.mod.go.jp/j/saiyou/



※本パンフレットでの個人の文章は各個人の見解であり、本文の記載もあえてわかりやすい表現にしています。



防衛省 2018 採用パンフレット

MINISTRY OF DEFENSE